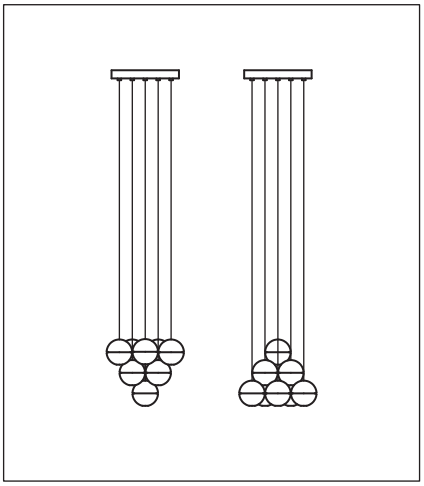
BOCCI

取扱説明書



Design by Omer Arbel

14.10 Geometric　［屋内用ペンダント］

- このたびは、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
  この取扱説明書をよくご覧のうえ、正しくご使用ください。
- 電源の工事が必要な器具については、専門の工事店におまかせください。
- 万一破損したり、異常を感じた場合は、速やかに電源を切りお買い求めの販売店にご相談ください。
- **電気工事店の方へ**：取り付け工事が済みましたら、この説明書を必ずお客様にお渡しください。
- **お客様へ**：この説明書は必ず保管してください。
- 本品の規格及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございますが、ご了承ください。

取り付けについての安全上のご注意

⚠ 警 告

火災のおそれがあります

◇電気工事は、電気設備基準にしたがって確実に行ってください。
◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。

落下によるけがのおそれがあります

◇取り付けは取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
◇器具の取り付けは、取り付ける場所の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。強度が不足している場合は、補強工事をしてから取り付けてください。
◇器具は指定の取付方向に取付けてください。

感電のおそれがあります

◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。
◇アース工事が必要な器具は、電気基準設備及び内線既定にしたがって確実に行ってください。

落下によるけがのおそれがあります

◇取付部のまわりに極端な突出部のある所に、器具を取り付けないでください。

⚠ 注 意

◇電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと**火災の原因**となります。

◇取り付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となることがあります。

◇灯具の着脱は両手で静かに扱い、取り付けは確実に行ってください。**落下によるけがの原因**となります。

◇調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。**火災の原因**となります。

◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。
屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。

◇器具取り付けの際に、壁紙・クロス貼り等の接着剤等が十分乾燥してから器具を取り付けてください。
メッキや塗装等の**変色や、さびの原因**となります。

屋内用

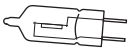
▶テクニカルデータ

器具タイプ	ソケット	使用電圧	周波数	ランプ	質量	調光
キセノン仕様	G4	AC100V	50Hz/60Hz	12V10W、81lm、2600K、CRI100×10灯	16.7kg※	販売店にご相談ください
LED仕様				12V1.5W、130lm、2500K、CRI80×10灯		不可

※キセノン仕様：キセノンランプ専用トランス×2台同梱。
[仕様]AC100～120V
LED仕様：LEDランプ専用トランス×2台同梱。
[仕様]AC100～240V、170mA、50Hz/60Hz
※ランプはこの器具の専用球です。交換の際は販売店でご購入ください。
※キセノン仕様とLED仕様は互換性がありません。

▶同梱部品

① ランプ・10個
キセノン球 12V 10W（専用ランプ）
または、
LED球 12V 1.5W（専用ランプ）

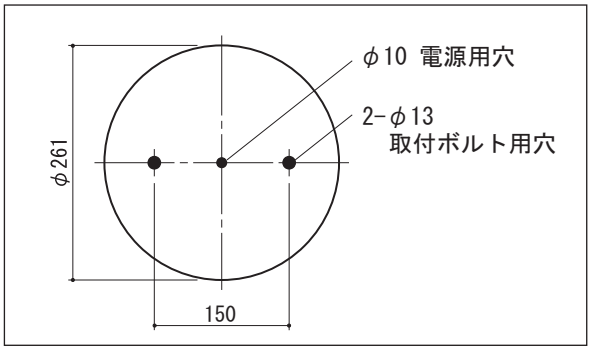




② コードストッパー・10個

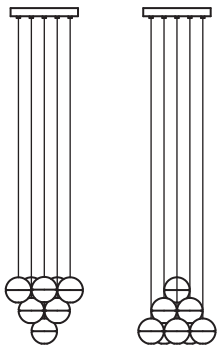


▶取付面図



▶取り付け・接続・使用方法

図１



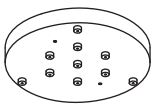
2種類の形態からお選びください。

【器具設置前の準備】

・取付場所に取付ボルト(2本・別途施工)を出しておいてください。
・取付場所は、器具の質量に耐えられるよう、補強をしてください。
・この器具は、2種類の形態にグローブを配置することができます。（図１参照）

1
フランジセットを分解する。

・フランジセットを分解して、取付プレートを取り出してください。



フランジセット

2
天井から電源線を引き出す。（図２参照）

・取付プレートを設置する位置を決めて、天井に開けた電源用穴から電源線(別途)を引き出してください。

3
天井に取付プレートを取り付ける。（図３参照）

・電源線(別途)を取付プレートの電源用穴に通してから、取付プレートをワッシャ(2枚・別途)とナット(4個・別途)を使って天井に固定してください。

図２

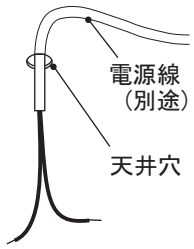


図３

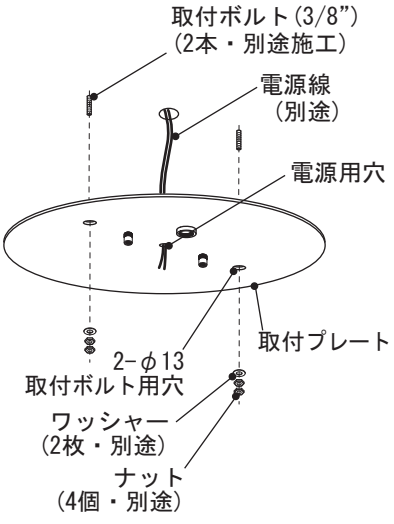


図４

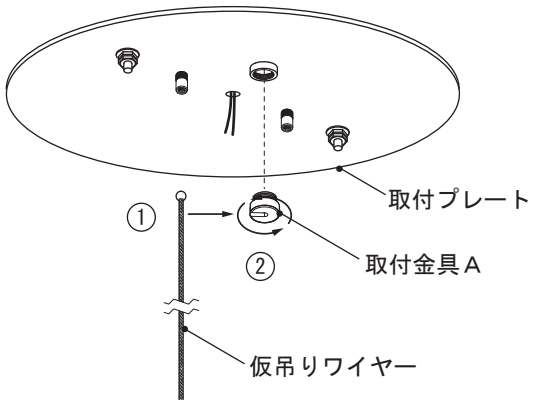


図５

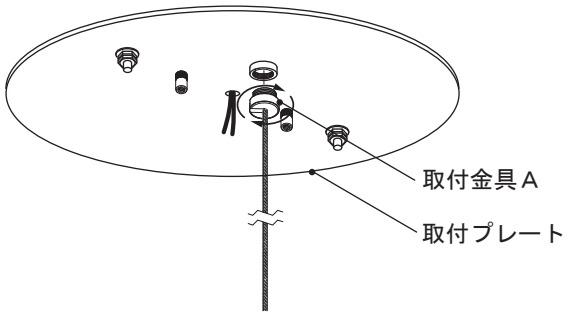


図６

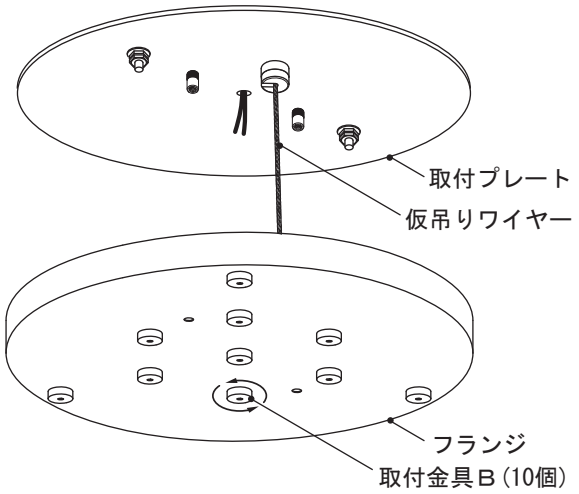
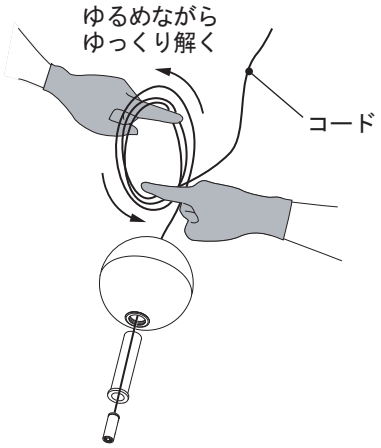


図７



４
仮吊りワイヤーを取り付ける。　（図４参照）

・取付金具Ａが取付プレートにねじ込まれているので、それを外してください。
・フランジから伸びる仮吊りワイヤーを取付金具Ａに差し込み、引っ掛けてください。

５
取付金具Ａを取付プレートに取り付ける。　（図５参照）

・取付金具Ａを取付プレートにねじ込んで、確実に固定してください。

６
取付金具Ｂを取り外す。　（図６参照）

・フランジにねじ込まれている取付金具Ｂ(10個)を外してください。

７
コードを解く。　（図７参照）

・束ねているコードをゆるめながら、ゆっくりと解いてください。

※コードは繊細です。巻きに逆らって解くと、折り目ができる可能性がありますので、十分に気を付けて解いてください。

図８−１

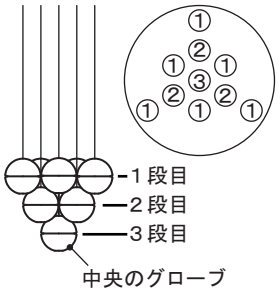
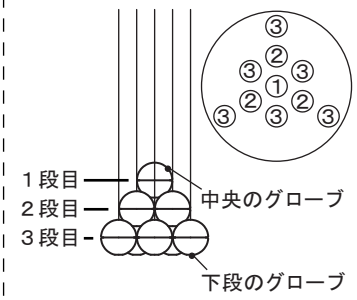


図８−２



※１段目のシェードは①へ、２段目のシェードは②
３段目のシェードは③へ、通してください。

図９

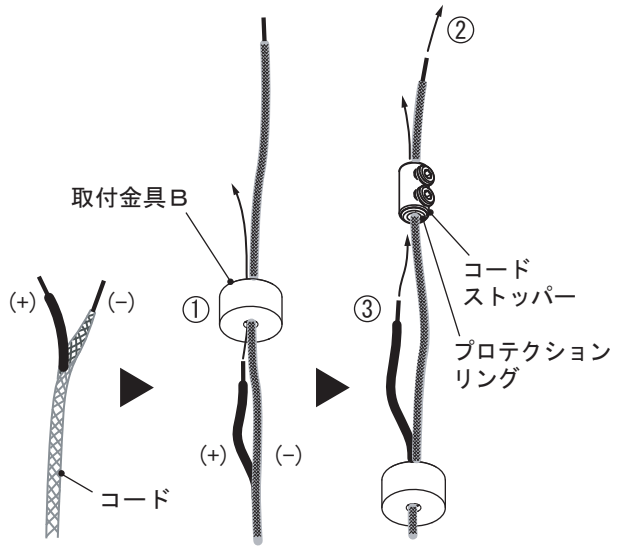


図１０

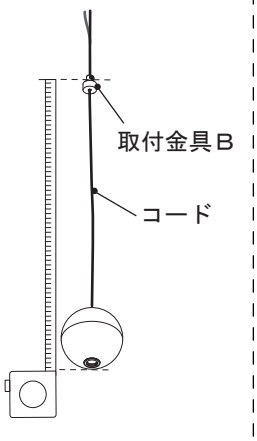


図１１

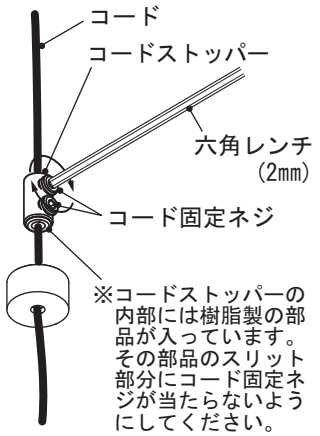


図１３

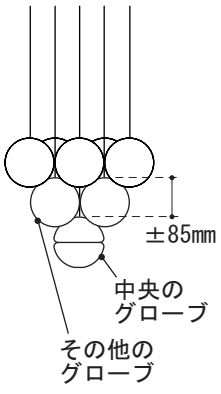
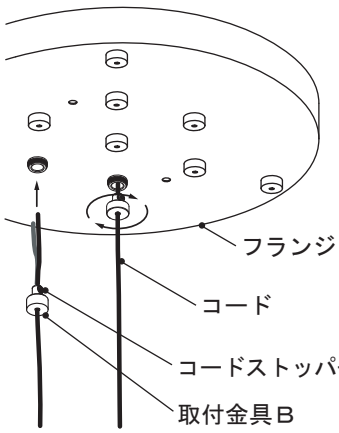


図１４



８
グローブの吊り位置を確認する。（図８−１、８−２参照）

・この器具は２種類の形態にグローブを配置することができます。
・『図８−１』形態の場合は、中央のグローブから取り付けを始めて、外側に向かって順に進めてください。
・『図８−２』形態の場合は、下段のグローブから取り付けて、最後に中央のグローブを取り付けてください。

９
取付金具Ｂにコードを通す。（図９参照）

・取付金具Ｂにコードを通してください。
・次に、コードストッパーに通してください。

１０
グローブを吊るすコード長を決める。（図１０参照）

１１
灯体を吊り下げる高さに合わせ、コードの長さを調整する。（図１１参照）

・コードの長さを調整し、長さが決まったら、コード固定ネジ２ヵ所を締め付けて固定してください。

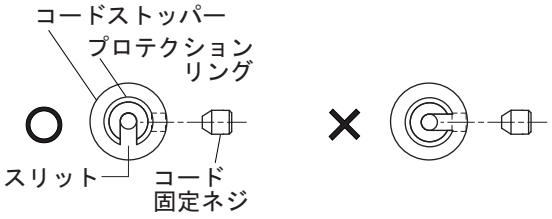
※コード固定ネジを締め付ける際は、以下のことに注意してください。

・コード固定ネジを締め付ける位置に、必ずプロテクションリングを差し込んでください。

⚠警告 プロテクションリングには、１カ所にスリット（隙間）があります。
このスリットにコード固定ネジが入らないようにしてください。（図１２参照）
コード固定ネジがコードに直接触れると、ショートする原因となり、大変危険です。

・プロテクションリングを締め付けたら、コードストッパーの位置をコード押え金具の近くに移してください。

図１２



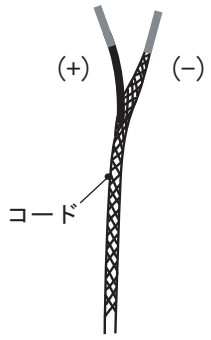
１２
グローブの吊り下げ位置を微調整する。（図１３参照）

・グローブ各列の上下間隔は、約 85㎜ に設定してください。しかし、グローブの大きさには個体差があるので、それぞれの間隔を微調整してください。
・グローブ同士が軽く触れ合うように配置してください。隙間が大きい場合は、コードの長さを調整してください。

１３
フランジにグローブ(10 個)を吊るす。（図１４参照）

・取付金具Ｂに通したコードをフランジ内に差し込んでください。
・取付金具Ｂをフランジにねじ込んで確実に固定してください。

図１５



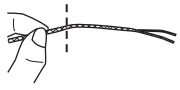
コードカットの方法		
 ① コードを希望の長さにカットします。この時、長さ調整のために余裕を持ってカットして下さい。	 ② 2線に分けます。まず、コードを片手でしっかりと持ち、外側の網目状の電線を縮めるようにして緩めます。	 ③ 網目状の電線の網目を手で広げます。
 ④ 中の絶縁電線を引き出します。	 ⑤ 2線に分かれたところです。	 ⑥ 網目状の電線を軽くしごき、形を整えます。

図１６

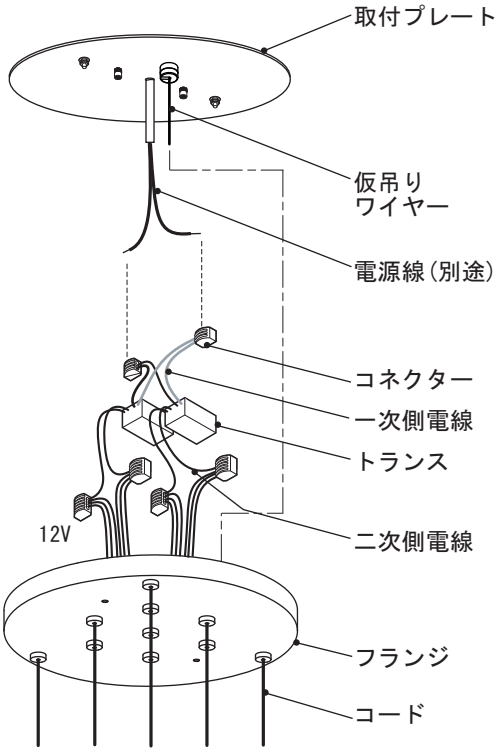


図１７

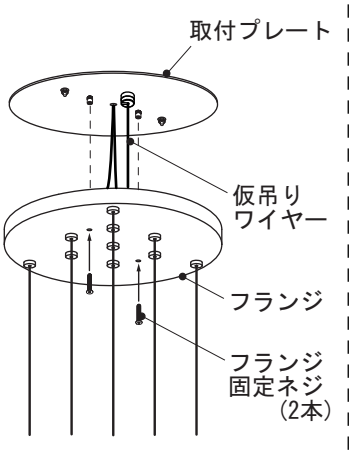
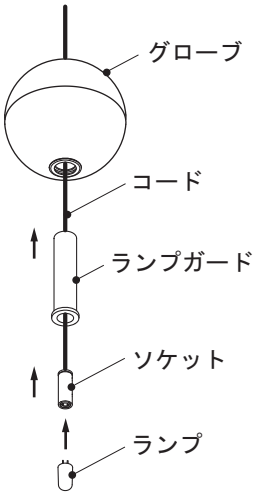


図１８



１４
トランスにコードを接続する。　（図１６参照）

・コード(10 本)をトランスの二次側電線に、コネクター(別途)を使って接続してください。

※トランスの一次側と二次側を間違えるとショートの原因となり、大変危険です。

※プラスとマイナスを間違えないようにしてください。

※プラスとマイナスが一つのコネクターにならないようにしてください。

・コードが余った場合は、少し余裕をもってカットしてください。（図１５参照）
コードの先端の被覆をむいて、適切な処理を施してください。

１５
トランスに電源線(別途)を接続する。（図１６参照）

・電源線(別途)をトランスの一次側電線に、コネクターを使って接続してください。

１６
フランジを取り付ける。　（図１７参照）

・フランジ内にあるコードストッパー(10 個)が取付金具 B(10 個)に真っ直ぐに収まっているかを確認してください。

・電線類とコネクター、仮吊りワイヤーをフランジ内に収めてから、取付プレートに合わせてください。

・フランジ固定ネジ(2 本)を使って、取付プレートに確実に固定してください。

⚠注意　この作業の際、電線類がフランジからはみ出したり、取付プレートとの間に挟まないようにしてください。正しく収納されないとショートの原因となり、大変危険です。

この作業は２人以上で行ってください。

１７
グローブを持ち上げて、ソケットにランプをセットしてください。　（図１８参照）

・ランプにある 2 つのピンをソケットの穴に合わせ、真っ直ぐに奥まで差し込んでください。

【ランプを扱う際のご注意】

⚠注意　ランプは素手で触らないでください。
ランプ寿命が短くなる原因となります。

使用についての安全上のご注意

⚠ 警　告



火災のおそれがあります
- 器具を布・紙等でおおったり、カーテン・揮発物等の燃えやすい物に近づけないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている適合ランプ以外は、使用しないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている電源電圧以外で使用しないでください。



感電のおそれがあります
- 器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。
- 異常時（煙が出たり、変な臭いがする等）には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談下さい。



感電・火災のおそれがあります
- 器具及び部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。

⚠ 注　意

- この器具は屋内専用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや発熱体を置かないようにしてください。**器具の変形や火災の原因**となることがあります。
- 点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。**やけどの原因**となることがあります。
- 器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下の原因**となることがあります。
- グローブ、シェード及びランプの着脱は両手で静かに扱い、取付けは取扱説明書にしたがって確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、**落下によるけが・物損の原因**となることがあります。
- 器具は定期的に（６ケ月程度）保守点検をしてください。ネジや部品のゆるみ、損傷、着脱がないかお調べください。不具合があった場合はそのまま使用しないで、販売店に修理の依頼をしてください。
- 照明器具には寿命があります。設置後およそ８～１０年経過しますと外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。３～５年に１回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。
（一般に照明器具の寿命の目安は１０年ですが、周囲環境温度等の使用条件に大きく影響されます。）

お　願　い

- ぬれた手で器具にさわらないでください、**感電の原因**となることがあります。
- ガラス・陶磁器類はこわれやすい材料です。お取扱いの際には両手で静かに行ってください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。

屋内用

保守とお手入れ

⚠ 注意　必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因となります。

- 点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。**やけどの原因**となることがあります。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**変色・破損の原因**となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
ぬれた手で器具に触らないでください。

ボッチ 日本総代理店

Studio NOI

スタジオノイ株式会社

107-0062 東京都港区南青山 2-18-2
竹中ツインビル B wing 2F
Tel. 03-5843-0260　Fax. 03-5843-0270
studio-noi.com